

# 2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 20日

所属	商経学部	職名	専任講師	氏名	西井 真祐子
研究課題	触感訴求が社会的責任消費に及ぼす影響				
研究キーワード	Socially responsible consumption, 触覚, 倫理的消費	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	12. つくる責任 つかう責任	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

研究課題について、先行研究のレビューおよび実証研究を行い、その成果を論文として発表した。また、研究成果から次の研究計画へと発展し、その研究計画が評価されて2022年度の科研費採択に繋がった。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

### 【著書・論文（査読なし）】

- [1] 「製品のぬくもり知覚が消費者判断に及ぼす影響 - 「ぬくもり欲求」による個人差-」西井真祐子、単著、千葉商大論叢、第59巻第2号、p.213-227、2021年11月
- [2] 「擬人化性の知覚が消費者行動に及ぼす影響」、西井真祐子、単著、千葉商大論叢、第59巻第3号、p.233-245、2022年3月

### 【学会発表等】

“Assessing Multisensory Congruence Involving Instrumental Timbre”, Sunaga, Tsutomu, Takeshi Moriguchi, Mayuko Nishii, Charles Spence, Proceedings of the European Marketing Academy, 50th 2021年5月

## 3. 主な経費

実験室実験の参加者へ支払った報酬, 学会発表参加費用

## 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

### 【科研費】

基盤研究（C）：令和4年度～令和6年度、課題名「擬人化性が消費者に与えるネガティブ効果の検討」（22K01749）